

2021 年度第 3 回宇宙法規範研究会

## 宇宙領域での国防イノベーション

### —米国による模索と大国間競争への示唆—

福島康仁

アブストラクト：

米国は2014年に中国などからの軍事的挑戦への対応を目的とした国防イノベーションに着手した。米国防省は宇宙を当初から主要な取り組み領域の1つとして位置付け、特に対宇宙能力の脅威が存在する中でも宇宙利用を継続できるようにレジリエンスを向上させることに重点を置いてきた。具体的な取り組みにおいては、イノベーションの重心が民間に移行したことを踏まえ、商業イノベーションの活用を国防省は重視してきた。2019年に創設された宇宙開発局と宇宙軍はそうした取り組みの中核となり始めている。宇宙領域での国防イノベーションに関する取り組みは未だ途上にあるが、将来的には宇宙領域、さらには全領域における軍事的優位へと発展し得る。しかしながら、中国も継続的に対宇宙能力や宇宙能力の向上を進めている。こうした能力の強化は軍民融合発展戦略のもとで加速する可能性がある。そのため米国は中国に対する相対的な軍事的優位を維持するために、国防イノベーションを中国を上回るペースで絶え間なく追求する必要がある。